

「道徳ウィーク」への取り組み

☆日時☆

2022年(令和4年)10月24日(月)～10月28日(金)

(10月24日(月)&10月25日(火)はフリー参観日)

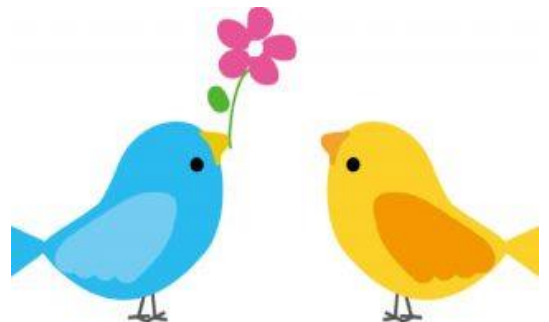
多治米小学校では、児童ひとりひとりの心を育てるために、学校全体の取り組みとして、道徳教育の推進を行っています。

日々の授業はもちろんですが、2022年(令和4年)10月24日(月)～10月28日(金)を「道徳ウィーク」に設定し、各学年および各学級ごとに、児童の実態に基づいた資料を選定し、一つの資料を通して、児童とともにじっくりと考え、自分自身を見つめ直すことができるように取り組めました。

今年度は、フリー参観日に道徳の授業公開をした学級も多く、保護者の方々に、児童が自分自身と向き合ったり、友達との考えを共有化したいする姿を見ていただくことができました。

今後も、児童ひとりひとりの心を耕すための一つとして、道徳の時間も大切にしていきたいと考えております。

「道徳ウィーク」の様子について、各学年ごとに紹介しております。ご覧になって、ご家庭でも子どもさんと話す機会となれば幸いです。



1年「大あわての トラッピー」

ねらい：どのような時でも わがままや自分勝手にしないで 周りの人のことも考えた節度ある生活をしようとする心情を育てる。



ねぼうしないように、目覚ましをかけるいいよ。

ガソリンを満タンに入れていたら、最後に止まることはないよ。

自分のことしか考えてないところもよくなかったと思うよ。

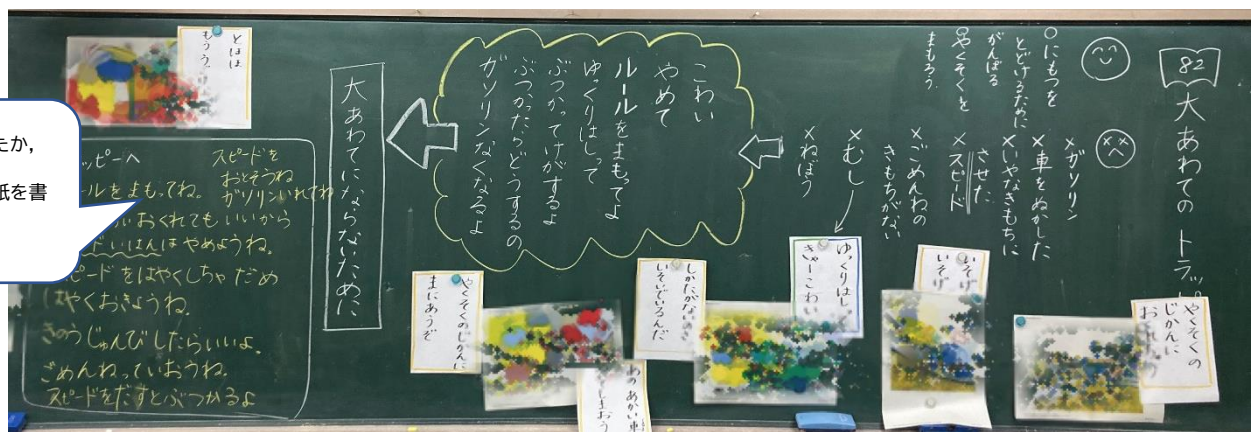
スピードをあげて他の車を抜いてしまうところがよくなかったよ。

自分勝手をする、周りの人がいやなきもちになるよ。

ちよつと遅れても謝ればいいから、スピード違反をしないほうがいいよ。



どうすればよかったか、トラッピーにお手紙を書いたよ。



2年「きらきらみずき」

1. ねらい

自分の良さを見つけ、さらに伸ばそうとする心情を育てる。

2. 活動

- ①「きらきらしている人」とはどんな人か考える。
- ② みんなには良いところがあるのに、自分にはないと感じる主人公の気持ちと、その後、先生や友達から自分の良いところを教えてもらって自分の良さに気付いた主人公の気持ちを比べる。
- ③「きらきら●●●」のワークシートに、自分の良いところを書いたり、友達に自分の良いところを書いてもらったりする。
- ④ 保護者の方や先生に自分の良さを書いてもらい、自分の「きらきら」を知ってどう感じたのかを振り返る。



・自分だけすてきなところがなくて悲しい。
・みんなには良いところがあるのになんで…。

・私にも良いところがあってうれしい!
・他にも自分の良いところはないかな。
・自分では気付いてないだけだったんだ!



・僕たちも、自分の良いところを知りたい!!
・友達に書いてもらいたい!

★自分の「きらきら」を知って思ったことや考えたこと★

- ・自分にはいいところはないと思っていたけれど、みんなに聞いたらいっぱいあってうれしかった。
- ・みずきさんみたいに、さいしょはわたしも自しんがなかったけれど、みんながきらきらを書いてくれたから、心があつたかくなって自しんがたくさんもてた。
- ・これからがんばろうと思ったし、自分にはこんないいところがあるんだ!!と思った。
- ・自分はこまっている人をたすけていることを知ってうれしくなった。

3年生



『おじいさんの「こんにちは」』 礼儀 ～相手のことを考えて～



目標：礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって挨拶しようとする態度を養う。

1. 自分たちの挨拶をふりかえる。

中ぐらいの声でしたよ。

大きな声でしたよ。

元気よくしたよ。

相手に聞こえるように。

相手の近くでしたよ。

自分たちのあいさつをさらに
レベルアップさせよう!!

2. 教材を読んで考え、話し合う。



①おじいさんに挨拶の言葉をかけてもらった人は、どのような思いになったでしょう。

ベビーカーの人

・小さな声でしてくれると、子供が起きないから助かる。

おばあさん

・元気なあいさつによってさらに元気になる。
・耳が遠いから、大きくしてくれて助かる。

魚屋さん

・元気になって、今日も頑張ろうという気持ちになる。

あいさつの仕方はちがっても…

★みんな「いい気持ち」「うれしい」

②あいさつをする時に大切なことは何でしょう。

…相手の様子をみてくふうしてあいさつをすること!!



3. 本時を振り返り、まとめをする。(児童のワークシートより)

- 次からあいさつをする時に、「笑顔で」「どのタイミングで」あいさつをするかを考えてするようにしたい。
- 相手がしていることを見てあいさつや行動が出来る人になりたい。
- 今度から、その人の様子を見てあいさつをしたい。例えば、教室では「大きな声で」あいさつをしたり、病院では「小さな声で」あいさつをしたりするようにしたい。
- あいさつは、「言えばいい」と思っていたけれど、気持ちを込めたり、相手のことを考えたりして、あいさつをすることが大切だと思った。
- あいさつは、大きな声ですれば良いと思っていたけれど、状況を見てから相手のことを考えてあいさつをすることが大切だと思った。
- おじいさんは、気遣いができてすごく優しい人だなと思いました。
- これからあいさつをする時は、相手の気持ちや場所によってどの声の音量が良いか考えてあいさつをしたい。



4年1組「クラスたいこう全員リレー」

〈ねらい〉正しいと判断したことを行動に移す大切さに気づき、様々な学習や生活場面において主体的に判断し、それを実行していこうとする態度を養う。

教材のあらすじ

主人公の男子のクラスでは、クラス対抗リレーに向けて勝利を目指し、みんなで練習を頑張っていた。しかしクラスのみんには気になることがあった。クラスメイトの A 君は足がおそく、バトンパスも苦手でいつも A 君のチームは負けていた。そんな時、A 君が風邪で休み、次の日学校に来た A 君にクラスのみんは「無理して走らなくていいよ。」とリレーに出ないように勧めた。それを聞いた主人公の男子は自分の心の中で葛藤がうまれ、クラスはこのことについて話し合うことに・・・。

私が A 君だったら
とても悲しい気持ち
になると思う。

負けない方法を
みんなで考えればいい！

みんなで勝たないと
気持ちが良くない。

勝ちたい気持ちは
分かるけど…

勝つことよりもクラスみんなでがんばりたいし、がんばったことを認め合いたい！

4年2組「ふろしき1まいで」

〈ねらい〉伝統と文化を大切にし、日本特有の文化を大切にする心情を育てる。

ふろしきは、日本では昔から、物を包んだり、運んだりするときに使われていました。どんなものも包むことができ、小さく折りたたんでしまったり、ひざにかけたりすることもできるふろしき。

では、どうしてふろしきで包むのか。自分がプレゼントをもらうときにそのままもらう方が嬉しいか、それともふろしきに包んでもらう方が嬉しいか。それぞれの立場で理由と共に意見を述べ、ふろしきに包む理由を考えることを通して、今に引き継がれる日本の伝統文化のすばらしさに気づき、これからも大切にしていこうという気持ちを高めました。

手間はかかるけどその分
「大切にしたい」という気持ち
が伝わる。

持ち運びやすいし、中の物も
よごれない！開けるのもワクワクする！！

<5年道徳>

○教材名 『手品師』
○内容項目 『正直, 誠実』
○主題名 『誠実な生き方』

○ねらい

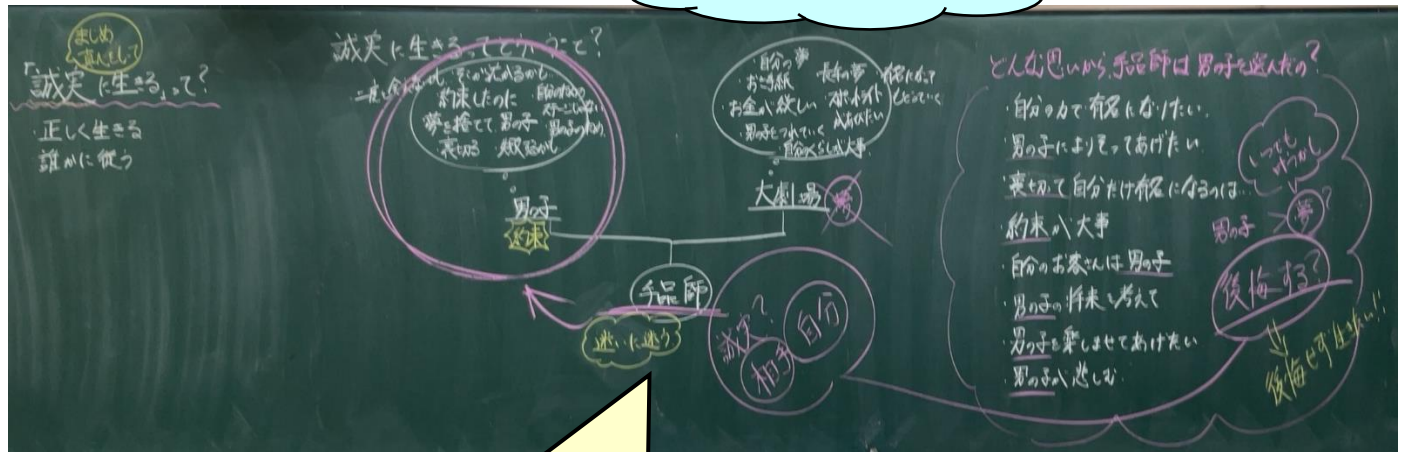
誠実に生きることのよさについて理解し, 明るい心で誠実に生活しようとする心情を育てる。

真面目に生きる

うそをつかない

正しく生きる

そもそも『誠実』に生きるって???



男子

どちらを選ぶだろう???

大劇場

自分が後で
後悔してしまうから

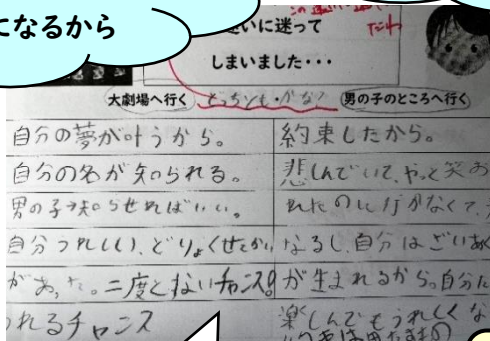
男子と
約束したから

自分の夢を叶えたいから

男子を
裏切ることになるから

二度とチャンスはない
かもしれないから

自分の暮らしが大事
だから



どんな思いで男子を選んだのだろう???

相手のことを考えて
行動できる

男子のことを考えて
あげたいから

男子のことが
大切だから

6年生 【教材名】 おばあちゃんの指定席 【内容項目】 親切, 思いやり

【ねらい】

相手の状況を想像して行動することの難しさやよさを自分自身の経験と重ねながら多様に考え、誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にしようとする心情を育てる。

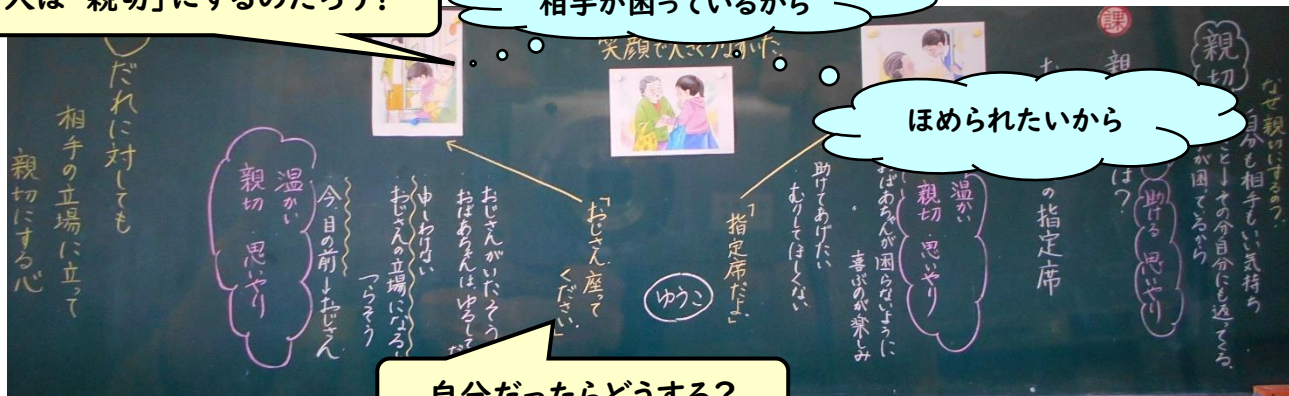
自分も相手もいい気持ちになるから

役に立ちたい、相手が喜ぶから

なぜ人は「親切」にするのだろうか？

相手が困っているから

ほめられたいから



自分だったらどうする？

けがをしたおじさんに席を譲る

おばあちゃんに席を譲る

どちらも同じ親切・温かい心・思いやりの心だなあ…

このままほっておけないから

おじさんが辛そうだから

おばあちゃんと約束したから

目の前に困っている人がいるから

喜ばせたいから



友だちの考えをしっかりと聞く！

自分の経験と重ねて考える！

人物の立場になって本気で考える！

学校のふりきり
私は、電車でおじいさんに席を譲ったことがあって、それが相手の立場になって考えることができたからだと思う。本当の親切とは、相手の気持ちを考え、相手が誰でも態度を変えないことだと思う。

学校のふりきり
私の変化：
私は親切とは仲よくある。かけつくりたと思っていたが、今日の授業で親切とは相手の立場になって行動することと知った。私は電車の席を「無言」でゆすったことがないので、次は優しく言葉を使って席をゆすりたかった。

学校のふりきり
私の変化：
知ることができた、私も譲ってほしい。みんなが譲ってくれることがいい。みんなが譲ってくれることがいい。

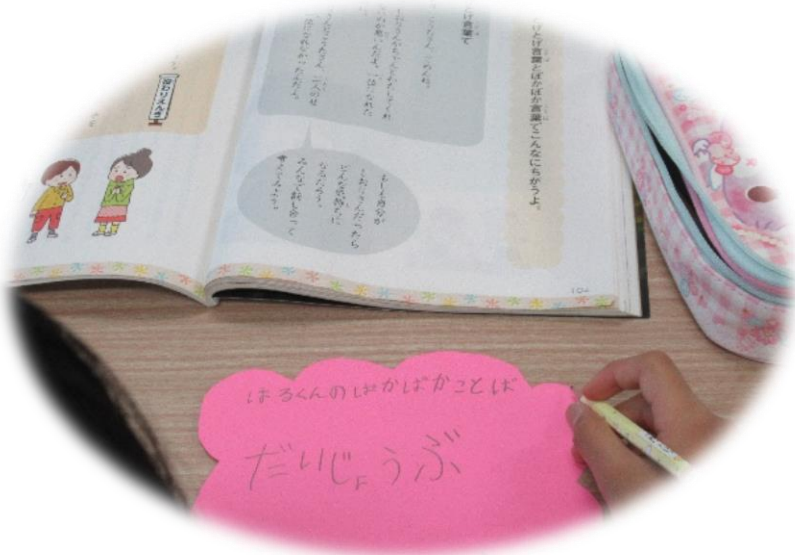
親切な心のよさ

だれに対しても相手の立場に立って親切にする心

＜なかよし道徳＞

- 1年 『大あわてのトラッピー』
- 2年 『たからもの なあに』
- 3年 『おじいさんのこんにちは』『ぽかぽか言葉』
- 4年 『ふろしきーまいで』『わたしのいのち』
- 5年 『手品師』
- 6年 『初めてのアンカー』『会話のゆくえ』

なかよし学級では、教材を読んで大切なことや気をつけること等について、それぞれの教室で考えました。考えたことをワークシートやカードに書いて発表したり、学んだことを生かすために実際にやってみたりし、学びを深めようと取り組みました。道徳の時間での学びを、生活に活かして欲しいと思っています。



相手や状況によって、あいさつの仕方を変えることが思いやりなんだな。

ありがとうって友達が言ってくれたら、心がぽかぽかになったよ。



ふろしき一枚で、いろいろ包めるんだな。

